



協会だより

Japan Tourism Facilities Association

No.144



12月

発行／公益社団法人国際観光施設協会

総務委員会

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋

2-8-5 多幸ビル九段2階

TEL03-3263-4844

FAX03-3263-4845

E-mail: kankou01@syd.odn.ne.jp

URL: <http://www.kankou-fa.jp>

2023年12月12日

師走を迎えて思うこと(観光と平和についての雑感)

副会長 浅野 一行

10月の訪日外客数は、コロナ前の2019年同月を超えたようで、多方面から過去最高益のうわさが聞こえてくる程、今年後半の観光宿泊業の業績は好調に転じています。その中で、1年を通じて多くの会員の皆様方に支えられて行われた、70周年記念事業のイベントは、すべて無事に終了しました。この1年は当協会にとって、大変充実した年だったと思います。一方で、世界に目を転ずれば、ロシアによるウクライナ侵攻やイスラエル・パレスチナ問題で、闘争に一般市民が巻き込まれる惨状が連日のように報道されています。心を痛めると同時に、為す術もない自分に無力感を感じずにはられません。そんな複雑な思いで迎えた師走、1年をふりかえりつつ、観光と平和について思いを巡らしました。

今年は、例年の委員会活動の他に、70周年記念事業と協会案内リーフレットの改訂版作成の仕事を担当しました。70周年記念事業は、多分野にわたる会員の一致団結により、年間を通じてのイベントは、協会史上かつてない程盛り上がりました。協会案内リーフレットでは、大先輩の方々が築き上げてきた歴史に、注がれた熱意を肌で感じる事ができました。それを経て、協会活動が、会員の皆様のボランティアで支えられているにも関わらず活況なのは、当協会にはホスピタリティ(対象を大切に扱うこと

により、共創関係が生まれ、新たな価値が生まれること)が根づいていることに改めて気付いた次第です。ホスピタリティが持つ課題を解決する好循環、正のスパイラルを生む力を再認識したわけです。憎しみが憎しみを呼ぶ闘争の歴史は、その対極ともいえる負のスパイラルでしょう。過去の歴史にこだわって、正義や正当性を主張するばかりでは、負のスパイラルのままです。ホスピタリティをもって、未来を思いやり次の世代の持続可能な社会を目指す行動が、正のスパイラルへ移行するために望まれます。

「観光は平和産業」、「観光は平和へのパスポート(国連1967年)」と言われます。平和な時しか成立しない、という受動的な意味ではなく、観光によって異文化への理解が進み寛容さが生まれ、平和がもたらされる、という能動的な可能性において、観光はホスピタリティのように負のスパイラルを正のスパイラルに変える力を持っています。そしてその実現には、相互理解を深める交流を促す施設づくり、観光交流空間づくりが欠かせません。観光のハードを扱う当協会は「平和と包摂的な社会の推進(SDGs16)」の一翼を担っているのです。無力感などと言ってはられないのかもしれませんが。

HOTERES JAPAN 2024

ホテルズ実行委員会 委員長 浅野 一行

第52回 国際ホテル・レストラン・ショーは、令和6年2月13日(火)～16日(金)、東京ビッグサイト・東展示棟にて開催されます。今回のHCJ(ホテルズを含む3展合同展示会の総称)のブース出展募集では、締め切りの9月末を過ぎても申し込みや問い合わせが続く盛況ぶりで、想定を大きく上回る出展者数が見込まれています。協会ブースの総合テーマは、「ホスピタリティのくに 日本を伝える」です。前回に続き、我々の研究成果を丁寧に、的確に伝えることの重要性に焦点をあてたものです。

今回は、協会ブースの位置を、いつもの会場中央部から少し奥のホスピタリティデザインセミナー会場の手前に移します。こうすることで、ホスピタリティデザインセミナーの聴講者をくまなく協会ブースに呼び込みます。さらに、協会ブースとホスピタリティデザインセミナーとその会場の壁面を飾るホテル・旅館・観光施設ライブラリーを合わせた3つを一体的に運営し、相乗効果でこれまでも増して賑やかな協会ブースにする予定です。また、4年ぶりにサロン(会員間の交流の場)を再開します。ワインとおつまみを提供しますので、フランクに交流できる絶好のチャンス、お誘いあわせの上是非ご参加ください。最後に、協会ブースへの参加申込みのお願いです。お済みでない方は、期限は既に過ぎてはおりますが、未だ受け付けておりますので、全員参加の協会CSV活動の主旨をご理解いただき、是非、お申し込みください。

70周年記念事業 Event1の報告 人と社会へのホスピタリティセミナー 「新しく生まれてくる観光のあり方」 開催の記録

70周年記念事業委員会 委員 古田 洋介

当協会創立 70 周年記念事業の第 1 回目当たる事業として、『新しく生まれてくる観光のあり方』と題したセミナー&交流会を 70 周年記念事業委員会、旅館観光地分科会、エコ・小委員会、耐震研究会、設備部会の共催により開催しました。

『食』・『SDGs』・『経済』という 3 つの視点から知見を得るため、3 名の講師を招聘し、ポストコロナの「新しく生まれてくる観光のあり方」を示唆していただくことを目的としたセミナーを開催。また、講師を囲んで会員間の懇親を深めるべく交流会を開催しました。

コロナ禍が明けた久しぶりの大規模リアルセミナー&交流会開催ということもあり講師 3 名の他会員 106 名が参加しました。

70周年記念事業 Event2の報告 人と物へのホスピタリティセミナー 日本の美「過去・現在・未来」

70周年記念事業委員会 委員 内田 幸子

今年の夏はことさら暑く当日も大変な猛暑日でしたが、ご参加のすべての皆さまの熱気により 2023 年 8 月の一番熱い日となりました。本件は交流部会：建築部会・インテリア部会、インテリア分科会によるものです。70 周年記念事業委員会が当初掲げた目標のひとつに記念事業の企画実行を通して協会内の交流を深めよう！というものがありませんが、他のイベント同様にその目標は達成できた！と思います。

セミナー「過去～現在～未来」は、ホテルオークラその価値を継ぎ育てる梅原真次氏、伝統美と着物美を融合させた伝統の進化を続けている齊藤上太郎氏のお二人に、日本の文様という同じテーマに伝統の過去～現在～未来を語っていただきました。

製作発表「日本を伝えるマップ」

<https://www.kankou-fa.jp/info/show?id=1185>

皆さま、もうチェックしていただいたでしょうか？協会活動の「日本の観光交流空間の魅力」を地図にプロットしたツールとして開発し、8月25日にお披露目とスタートをきることができました。これからも「日本を伝え続ける」ために、皆さまと育てていきたいと思っております。

70周年記念事業 Event3 及び サフイベントの報告

- ・人と自然へのホスピタリティセミナー：
「森から地域づくりを見直す」
- ・サフイベント@岐阜：

「岐阜の森の文化・木の文化フォーラム」

70周年記念事業委員会 副委員長 野出木 貴夫

記念事業イベント 3 は 9 月 5 日に開催され、テーマ「人と自然へのホスピタリティ」を受けて「森から地域づくりを見なおす」としました。ファシリテーターを林野庁出身の(株)モリアゲの長野麻子氏にお願いし、パネリストは森林浴の実践者、森と未来代表の小野なぎさ氏、加えて造園家、また岐阜県立森林文化アカデミー学長であり当協会の副会長を長年務めていただいた涌井史郎氏にご登壇いただきました。

会場はエコツェリア協会のご協力のもと大手門タワーの 3×3Lab Future にて開催され満場の 120 名が参加し、和やかな雰囲気の中にも熱い議論が交わされました。

これに引き続き 10 月 19 日～20 日の 2 日間にわたり「岐阜の森の文化・木の文化フォーラム」及び関連の記念イベントが行われました。このフォーラムは協会の「木づかい活動」を通じ交流のある岐阜県主催によるもので、協会有志が最新の木づかい事例・提案をテーマに話題提供をする形で共催者として参画したものです。会場は岐阜県立森林文化アカデミーにて行われ、地元林業関係者・アカデミーの学生たち約 100 名が参加しました。協会より有志 17 名が参加、内 5 名が登壇し発表を行いました。フォーラムの翌日は中津川市市有林にて 100 年樹齢のヒノキを古式三ツ緒伐りによる伐採する式典を保存会の協力を得て挙行了しました。また式典の後には協会創立 70 周年を記念し林道にモミジの苗木を植樹させていただきました。

「観光施設」70周年記念特集の予告

広報委員長 兼平 慎

70 周年特別記念号を一年の総括として 2024 年 4 月若葉号に掲載いたします。内容は鈴木会長、大内委員長のご挨拶、内田委員からはホームページを交流の場としたシステムの説明。今年開催の 5 つのセミナーの報告。それから観光庁長官様そして 5 団体様からのお祝いの言葉、10 年間の交流の写真集と歴史、最後に名誉副会長涌井様を予定しております。その他には 2 月開催の国際ホテル・レストラン・ショーの報告、ホテル旅館観光施設のライブラリー他を掲載いたします。是非ご期待お待ちしております。

第 116 回国際観光施設協会ゴルフ会の結果 と次回予告

秋のゴルフ会が 11 月 9 日（木）に「姉ヶ崎カントリー倶楽部」にて開催されました。

当日は絶好の天気恵まれ、7 組で競技が行われました。戦略性のあるコースに苦戦しながらも、大激戦を制したのは、2 つのバーディを取ったオフィス M かねひらの兼平様でした。参加企業の皆様からの協賛のお陰で、表彰パーティも大変盛り上がり、楽しい親睦の場となりました。

次回も同じゴルフ場にて計画する予定です。皆様のご参加をお待ちしています。

新入会員紹介☆ (入会順)

【製造業・販売業】

Hellohas Robotics 株式会社

(代表者) 代表取締役
山谷 健

〒101-0047

東京都千代田区内神田 1-4-10 大手町 ATS ビル 1F
TEL080-2307-1163

営業内容: ロボットに関する商社、ロボットに関するシステム開発、ロボットに関する企画設計、製造販売

【製造業・販売業】株式会社タカショー

(代表者) 代表取締役社長(担当者) 東京支店
高岡 伸夫 プロミス営業部 マネージャー
池田 年輝

〒101-0062

東京都千代田区神田駿河台 2-9 KDX お茶ノ水ビル 2F
TEL03-5244-5651 FAX 03-5244-5652

営業内容: エクステリアに関する製品の企画、ガーデン用品の輸出入販売

【製造業・販売業】フィグラ株式会社

(代表者) 代表取締役 (担当者) F.T. 事業ガラス部
加藤 秀規 営業開拓グループ 顧問
土屋 照雄

〒162-0814

東京都新宿区新小川町 4-1 KDX 飯田橋スクエア 4
TEL 070-1311-8773 FAX 03-3260-1570

営業内容: 機能・デザイン硝子製造販売、化粧品容器及び中味企画製造販売

【設計・コンサル】株式会社マインドシェア

(代表者) 代表取締役 (担当者) 専務取締役
今井 祥雅 川畑 博

〒108-0014

東京都港区芝 5-29-14 田町日エビル 4 階
TEL 03-5232-6877 FAX 03-5232-3492

営業内容: 商業マーケティング、地域マーケティング、ママ・マーケティング、ハンズオンマーケティング

【製造業・販売業】コクヨ株式会社

(代表者) (担当者)
ワークプレイス事業本部 ワークプレイス事業本部
TCM 本部 リューション部 TCM 本部 リューション部
部長 保谷 英希 城間 健市郎

〒100-6018

東京都千代田区霞が関 3-2-5 霞が関ビル 18F
TEL 080-1111-7395

営業内容: 文房具・オフィス家具の製造・仕入れ・販売、オフィスなどの空間デザインとコンサルティング

【設計・コンサル】株式会社ワクワクワークス

(代表者) 代表取締役社長 (担当者) イベント事業部
中川 悠介 中島 幹太

〒107-0062

東京都港区南青山 6-10-12
TEL 090-3991-0360

営業内容: クラブ等、エンターテイメント企画、運営およびコンサルティング業務

【製造業・販売業】TradFit 株式会社

(代表者) 代表取締役
戸田 良樹

〒100-0005

東京都千代田区丸の内 1-6-5 丸の内北口ビルディング 9 階
TEL 03-6778-4803

営業内容: 生成 AI (ChatGPT) ・ AI スピーカーのソフトウェア開発など

【製造業・販売業】

株式会社 JTB (JTBグループ)

(代表者) (担当者)
取締役常務執行役員 エリアソリューション事業部
森口 浩紀 事業開発担当部長
市原 秀彦

〒140-8602

東京都品川区東品川 2-3-11
TEL 070-1054-7822 FAX 03-5796-5796

営業内容: 旅行業、観光地の開発並びに旅行及び観光施設に関する事業、マーケティング調査研究など

【製造業・販売業】株式会社クレアス

(代表者) 代表取締役
山田 亮

〒904-0101

沖縄県中東郡北谷町字神勢頭 550-4
TEL 098-926-1638 FAX 098-926-1639

営業内容: 宿泊施設向けセルフチェックインシステム「スマートフロント Mujinn」の運営・販売

【製造業・販売業】

株式会社パークホームズ・プラス

(代表者) 代表取締役 (担当者) 東京本社 執行役員
池田 昌弘 営業部長 浜野 良明

〒104-0031

東京都新中央区京橋 1-6-13
TEL 03-3563-5701 FAX 03-3563-5720

営業内容: トレーラーハウス事業

【設計・コンサル】

株式会社 Brain Trust from The Sun

(代表者) 代表取締役
大川 桂一

〒104-0031

東京都中央区京橋 1-6-13
TEL 03-6263-0423 FAX03-6263-0424

営業内容: 不動産業

♥編集後記♥12月を迎え、創立70周年を迎えた記念すべき年も終わろうとしています。当協会の設立には1964年に開催された第18回東京オリンピック大会が大いに関係していたといえますオリンピックを誘致するための準備の一環として、重要視されたのが訪日外国人のための宿泊施設を整備し充実させることでした。1953年当時の運輸省観光部のご指導により国際観光設備協会が設立されて活動を開始し、1970年に国際観光設備協会から施設協会に改組することにより事業の拡充を図り、我が国の観光事業に多くの実績を残してまいりました。これからも協会の益々の発展を願い全員で事業に取り組んで参りたいと存じます。Y.K